

北アルプス



No. 45

シルバーだより

令和4年1月1日 発行

公益社団法人

北アルプス広域
シルバー人材センター

大町市大町 4113 番地

TEL 0261-22-2445

FAX 0261-23-5033

<https://webc.sjc.ne.jp/kita-alps/>

謹賀新年



「寒干し大根作り」 大町市観光協会 フォトギャラリーより



理事長
川本嘉瑞義

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、お健やかに

新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、年頭にあたり、構成市町村長を始め地域の皆様の多大なるご支援と会員・役職員の日頃の就業努力に対

しまして心から感謝とお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の第5波は8月中旬にピークを過ぎ、新規陽性者の減少により警戒レベルは緩和されましたが、感染が全国に拡散し依然として収束に至らない現状では、感染拡大防止対策の手を緩めることはできません。

シルバー事業においても、就業機会の極端な減少が2年目を迎える今日、ワークチン接種が加速してくれば契約額も徐々に回復してくるものと期待

しております。

就業機会の確保提供に努めながら、会員の生きがいの充実と社会参加の促進、地域社会の活性化に貢献するとともに、会員の高齢化や後継者不足が顕在化していることから、後継者の育成と退会抑制に努めてまいります。

関係機関並びに会員各位の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

社会奉仕活動実施 シルバー啓発月間に合わせて実施

大町・平地区10月28日 15名参加
ゆ〜る木崎湖周辺



毎年10月は、事業普及啓発促進月間です。会員互助会では奉仕活動を地域に貢献する重要な事業として位置づけ、全会員の参加を目指して毎年取り組んできました。

昨年に続き今年も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため懇談会等の開催を取りやめました。

地区会員が一堂に会する機会が減っている中、地域への感謝を込め、公共施設の草取り、剪定、清掃などの作業に黙々と取り組みつつ、3密を避けたささやかな交流ができました。

なお、池田地区と松川地区は県の感染警戒レベルを考慮し中止としました。

大町地区 10月8日 53名参加 大町市運動公園内



八坂地区 10月14日 13名参加
明日香荘周辺



美麻地区 10月15日 14名参加
新行グランド周辺



小谷地区 10月5日 10名参加
小谷村福祉センター



白馬地区 10月22日 15名参加
白馬グリーンスポーツの森公園



令和3年度事業実績（4月～10月）

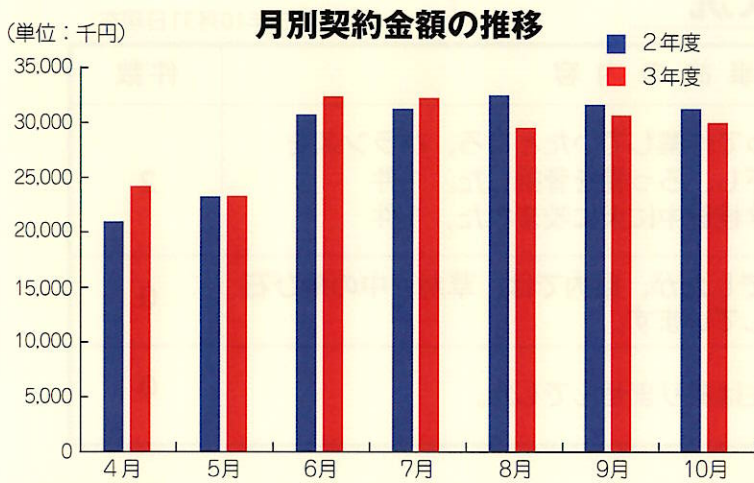
4月から7月までの事業実績は、前年度と比較して5.5%、金額にして576万円の増でした。前年度は新型コロナウイルスの影響により公共機関や企業の受注が大きく減少しましたが、僅かながら回復の傾向が見られました。

しかしながら、8月の前年度比10%減を筆頭に、9月と10月は約4%の減となり、累計では前年度と

ほぼ同額の1億9855万円でした。増減の内訳は、公共機関2%増、民間企業7%増、一般家庭8%減という状況です。

また、10月末の会員は545名で、3月末から60名の減です。

会員紹介による入会者が多く会員のご協力に感謝しています。引き続き「一人一会員入会運動」への協力をお願いいたします。



契約金額の推移(月別)

(単位：千円)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2年度	20,704	22,665	30,245	30,790	32,000	31,224	30,798
3年度	23,634	28,876	31,851	31,804	28,793	30,088	29,505
前年比	114.2%	100.9%	105.3%	103.3%	90.0%	96.4%	95.8%

契約金額の推移(累計)

(単位：千円)

累計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2年度	20,704	43,369	73,614	104,404	136,404	167,628	198,426
3年度	23,634	46,510	78,361	110,165	138,958	169,046	198,551
前年比	114.2%	107.2%	106.4%	105.5%	101.9%	100.8%	100.1%

11月8日、大町市総合福祉センターにおいて「NHKきょうの料理」やSBCのテレビラジオで活躍の大町市出身、横山先生を講師に「信州の知恵、日本一の長寿ごはん」と題した講演会が開催され約30名の参加がありました。

ヨーグルト等の動物性発酵食品よりも、味噌・醤油や漬物等の植物性発酵食品の方が、腸の長い日本人に適していること。お茶うけとしての漬物の効用。また、寒暖差の大きい当地域の野菜は栄養が豊富なので、高齢者の健康のためには具がたっぷりのお味噌汁と漬物を添えた「一汁四菜の食事」が大切。「信州の発酵食品こそ健康の源」というお話に、参加者全員が引き込まれていました。



県シルバー人材センター連合会主催
料理研究家
横山タカ子先生の
「健康と食の講座」

安全・適正就業 標語入選

本年度も会員の皆さんに標語の募集をしたところ、23名の方から45作品の応募をいただきました。

入選された皆さんには、12月に行われた第5回理事会において、理事長より表彰状と記念品をお渡しし、表彰しました。

○北アルプス広域 シルバー人材センター

安全・適正就業委員会において審査した結果、次の皆さんが入選されました。

最優秀賞

吉澤 岑夫

作業中

急ぐ行動 怪我のもと

優秀賞

鎌倉 茂樹

急ぐ心は危険の芽

地に足付け 安全作業

優秀賞


白澤 俊之

事故減らす

一人ひとりの自覚から

令和3年度事故発生状況

令和3年10月31日現在

事故の種類	事故の内容	件数
傷害事故	 三脚に乗って作業していたところ、バランスを崩して落下し、ろっ骨を骨折した。1件 水道メータ検針中に犬に咬まれた。1件	2
賠償事故	当センターでは0件でしたが、県内では、草刈り中の飛び石等の事故が22件発生しています。	0
交通事故	幸い、交通事故の発生はありませんでした。	0

県シルバー人材センター連合会 安全パトロール

8月の安全適正就業強化月間に合わせ、8月31日に県連合会の内田安全・適正就業委員による安全パトロールが実施されました。

当センターは事務局、安全推進員及び茅野安全・適正就業委員長が帯同し、大町市内の剪定作業現場において点検表に基づき適正に就業しているか確認しました。

講評では、安全ミーティングの実施と安全対策に高評価をいただき、指摘事項はありませんでした。



健康に感謝 大町地区 吉澤 美知

健康に感謝

大町地区 吉澤 美知

シルバー人材センターの職員に「来年は年女ですか？」と尋ねられ、一瞬「えっ」と言っただけ返事ができませんでした。シルバーだよりの原稿を依頼された時が改めて自分の年齢を感じた瞬間でした。誕生日は毎年来るのに不意に聞かれるとこんなもんかと心の中で笑ってしまいました。

シルバー人材センターの会員になり今年で八年目です。色々な仕事をいただく中でお友達もでき、所々で親しく声をかけていただき親交を深める事ができたことに感謝しています。

また、気持ちも体もハツラツとして動き回る先輩方の働きぶりを見る度に頭が下がる思いです。人と人との交わりは、生きていく上でとても大切なことだと、この年齢になり改めて感じながらとても楽しい時間を過ごしています。

これも今のところ健康で仕事ができているおかげ。少しは世間のお役に立っているのかな？と思いつつ毎日頑張っています。

六回目の年男を迎え 白馬地区 上田 栄治

シルバー人材センターに入会して一年が過ぎました。今は、白馬村の特別養護老人ホーム白嶺で夜間管理の仕事をしています。

夜間の見守り、玄関やカーテンの開閉、照明の点消灯、トイレや各所の清掃、冬の雪かきと、最初はとても大変でしたが、今ではすっかり慣れ、余裕が持てるようになり楽しく働かせていただいています。

そもそも、スキ一の盛んな白馬村にきたのが二十歳の時。今振り返れば五十二年という長い年月が経ってしまいました。若い時はスキーに夢中になり、冬はスキーのインストラクター、夏は土木建築会社で働いていました。

早く冬が来ないか待ち遠しかったあの頃が昨日のように思い出されます。今は年を取ったせい、寒さはとてもつらく暖かい方が良いなと思うようになりました。でも、この地域に住んでいる以上、向き合っていくしかないんだなあと思うこの頃です。

私は今年で六回目の「年男」を迎えます。年月の経つのがとても早く感じるようになってきました。これからはと頑張れるよう元気を出して生きていこうと思います。

適格請求書保存方式(インボイス制度)について

令和5年10月から消費税の新たな制度が始まります

センターが会員の皆さんにお支払いする配分金には
消費税が含まれています

1 現在(令和5年9月30日まで)

○センターが会員の皆さんに支払う配分金には、『発注者から預かった消費税』が含まれています。
この消費税は、本来、税務署に収めるものですが、年間の課税売上額が1,000万円以下の会員の皆さんは消費税免除事業者となるため、納める必要はありません。

発注者が支払う額 = 会員が受け取る配分金 11,000円 + 事務費 880円

会員が受け取る配分金(11,000円)の内訳		センター事務費(8%) 880円	
配分金本体 10,000円	預かり消費税 1,000円	事務費 800円	消費税 80円

2 インボイス制度が始まると(令和5年10月1日から)

- ① インボイス制度が始まっても、センターは会員の皆さんにはこれまでどおり『発注者から預かった消費税』を含めて配分金をお支払いします。また、消費税免税事業者である会員の皆さんは、これまでどおりこの消費税額を税務署に納める必要はありません。
- ② そのかわり、センターは消費税免税事業者である会員の皆さんとの取引について、消費税の仕入税額控除が認められなくなるため、会員の皆さんに支払った『発注者から預かった消費税』をセンターが負担しなければなりません。
- ③ つまり、会員の皆さんに支払った『発注者から預かった消費税』と同額を税務署に納めるため、センターには、新たな消費税支払いが発生するということです。
- ④ センターには、この新たな消費税を支払う財源がありませんので、事務費の率を値上げするほかありません。一層の事務効率化を図るなどで、会員の皆さんへの支払配分金額に影響しないよう尽力いたしますが、そのことで仕事が減ってしまったりセンターの経営が厳しくなることも懸念されます。今後の状況によっては、会員の皆さんにご協力をお願いする場合があるかもしれませんので、その際は何卒ご理解の程お願いいたします。

発注者が支払う額 = 会員が受け取る配分金 11,000円 + 事務費 1,980円(18%)

会員が受け取る配分金(11,000円)の内訳		センター事務費(8%) 880円	
配分金本体 10,000円	預かり消費税 1,000円	事務費 800円	消費税 80円

事務費を増	
1,000円	消費税 100円

預かり消費税の納税には経過措置期間があります。

- 令和5年10月から令和8年9月まで 20%
- 令和8年10月から令和11年9月まで 50%
- 令和11年10月から 100%

互助会サークル活動の紹介

大町地区

野菜・健康クラブ

代表 有賀 奨

野菜づくりを通じてクラブ員の交流を深め、心と体の健康増進を図りながら、格安な野菜をシルバー会員や地域の皆さんに提供することを目的に活動しています。

大糸線常盤駅近くの畑で、玉ねぎやジャガ芋、長ねぎを栽培して、例年、大町運動公園で行う大町地区社会奉仕活動の際や市民ふれあい広場で販売をしています。また、介護施設等には、無償で提供するなど社会貢献をしています。

クラブ員は14名で、苗の植付けや収穫時には毎回7割以上の参加があり、作業終了後のお茶会では情報交換が活発で楽しい時間を過ごします。

コロナ禍で懇親会や小旅行は中止していますが、楽しくイクラブです。皆さんの入会をお待ちしています。



大町地区

あつみの友愛会

代表 奥松 幸子

初めまして。昨年から、あつみの国営公園で働く仲間と「あつみの友愛会」を立ち上げました。私は開園と同時に清掃の仕事に従事してから17年ほどになります。大自然の中で春夏秋冬はつきりと違う四季を感じながら園内を歩き回り、良い運動になっていきます。

さて、令和元年の暮れに思いもしなかった新型コロナウイルス感染症が発生し、あつという間に日本中・世界中に広まりました。一時はものすごい恐怖感と、若い先短い老人達がどこにも出かけられない窮屈さを感じる毎日でした。公園内も各所が閉鎖され、食の体験コーナーも休みとなり、私達は除菌液を使いながらの作業です。ワクチン接種とマスクの着用などの必死の感染対策が功を奏し現在は落ち着きつつあります。

会としては、仲間と何かにつけて集まり、交流を深める機会を増やすための行動を起こそうと思っています。

会員募集中

大北地域に居住する60歳以上の健康で働く意欲のある方。

入会説明会に出席し、シルバー事業の趣旨を理解のうえ、入会するか判断していただきます。

入会説明会は、毎月第3木曜日、午後1時30分から

大町事務所で開催していますので、お気軽にご出席ください。

各地区の事務所の電話番号は、次のとおりです。

- *大町事務所 2212445
- *池田事務所 6218045
- *松川事務所 6111401
- *白馬事務所 7218220
- *小谷事務所 8212430

配分金の確定申告

確定申告の時期となりました。令和3年分「配分金支払証明書」(令和2年12月から令和3年11月の配分金)を1月中に会員の皆様に送付します。

配分金収入は、所得税法上「雑所得」に区分されます。

また、派遣会員の方には「源泉徴収票」をお送りします。所得税を徴収してありますので、確定申告をしてください。

配分金及び派遣給与の支払日

12月分	1月14日(金)
1月分	2月15日(火)
2月分	3月15日(火)
3月分	4月15日(金)
4月分	5月13日(金)
5月分	6月15日(水)
6月分	7月15日(金)
7月分	8月15日(月)

編集後記

前号がコロナ禍での行事の遅れ等から10月の発行となりました。発行後間もなく事務局が素案を作り、10月21日に編集会議を開き割付や原稿依頼の手順などをまとめました。その日の夕刻ニュースで長野県でのコロナ感染警戒レベルが県全域で6段階の一番下の平常時になったと報じていました。やはり何か「ほっと」しました。その後作業を続け校了。この編集後記を書いている近頃は全国的にも感染者は少なくなっています。本号が新年に皆様に届く時にも感染状況が平常で経済活動が進められている事を切に願っています。

(曾根原 記)